

太平洋地域における生態系を 活用した対応と災害発生リスクの 低減の必要性について

デイビッド・シェパード

太平洋地域環境計画事務局(SPREP)

事務局長

2014年6月30日

ご説明内容

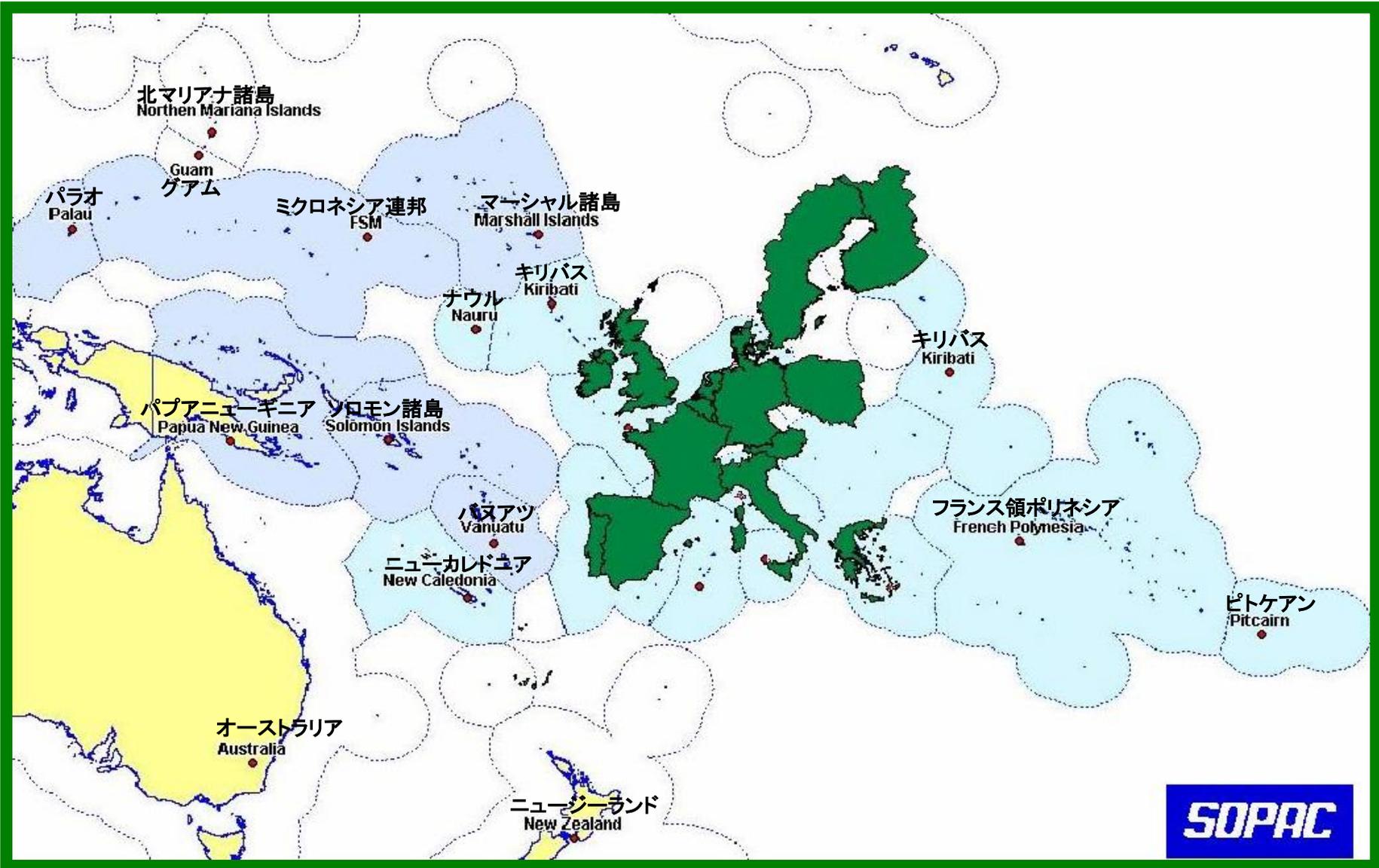
- 太平洋地域の特徴とSPREP
- 気候変動と自然災害への対応
- 将来に向けて

太平洋地域の特徴と SPREP

はじめに: 太平洋地域について

- 広大な地域
- 互いに孤立した多数の島が存在
- 気候変動に対して脆弱性を持つ
- 対応能力が限られる
- 太平洋こそが住民の生活の源

太平洋地域の規模とは？





**太平洋地域には、
地球上で最も
海拔が低い5カ国の
うち3カ国が
存在する**







太平洋地域の
陸地面積 2%



はじめに
パートナーとクレジット
レッドリスト・プログラム
データ編成
統計データのサマリー
データソースとデータの質
カテゴリーと基準
典拠ファイル
フォト・ギャラリー
参照資料
出版物とリンク
よく寄せられる質問



IUCN種の保存委員会

2006年度
IUCNによる
絶滅危惧種に関する
レッドリスト



貴重な種を
検索



専門家を
検索



IUCN
国際自然保護連合

What's new?

最終更新日: 2006年4月26日

© International Union for Conservation of Nature and Natural Resources, [Contact Information](#)

 **SSC**
種の保存委員会



SPREPとは

- 太平洋地域の環境問題に取り組む政府組織
- 気候、生物多様性、廃棄物管理、およびガバナンスの4つの領域に取り組む
- 太平洋地域における40年間の活動実績
- 26カ国の加盟国で構成
- 年次のSPREP会合を通じてガバナンスを実現



SPREP戦略計画2011-2015

www.sprep.org



第21回SPREP会議

担当者会議

パプアニューギニア、マダン・リゾート

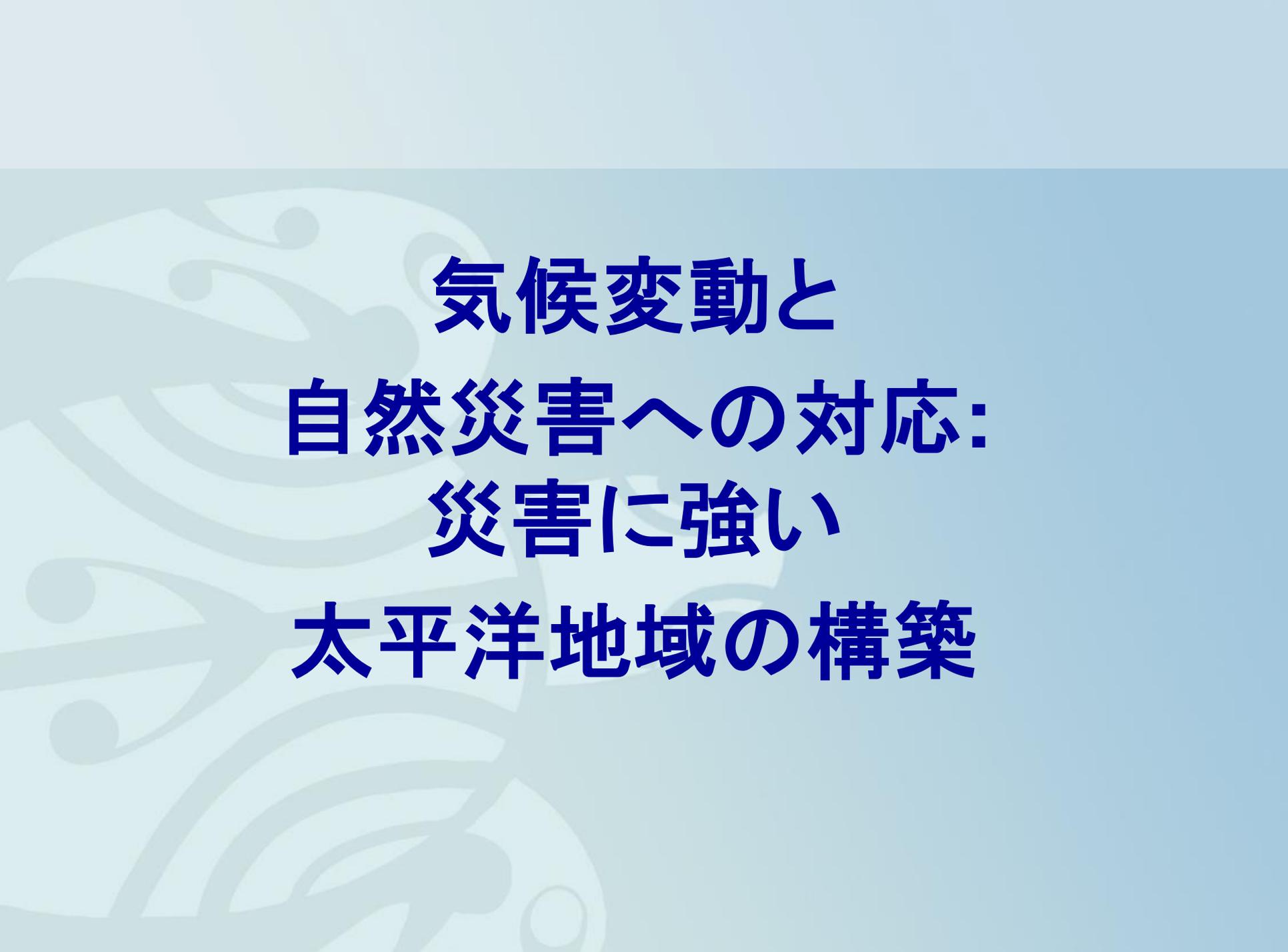
2010年9月6日から10日まで開催

SPREPの活動を支えるパートナーシップ





GO THE
MANU!!



**気候変動と
自然災害への対応：
災害に強い
太平洋地域の構築**

IPCCが2100年までに発生すると 予測した事象(4つのシナリオ)

- 気温が最高4.8度(摂氏)上昇する
- 海面が最大で97 cm上昇する
- 海の酸性化が継続し、悪化する
- 猛暑日の日数が増える
- 降水パターンが変化する
- 熱帯低気圧の数が増える

4° Turn Down the Heat

Climate Extremes, Regional
Impacts, and the Case for Resilience



THE WORLD BANK

影響と対応策

- 太平洋地域の国のトップにとっての懸案ポイント: 太平洋地域が直面する最も重要な脅威とは気候変動である
- 2013年の太平洋諸島フォーラムは、「気候変動に関するマジュロ宣言」を採択



水資源の
安全保障



海岸



食料安全
保障



健康



生物多様性
に基づく
資源



社会的な
側面

国家安全保障

Value /

of our life









**海水温度が2度上昇すると、
サンゴ礁が白化し、死滅する**





災害に強い太平洋地域の構築

- 太平洋地域の諸国は気候変動と自然災害に対応するための独自のアプローチの構築に取り組んでいる(太平洋の問題には、太平洋の解決策を適用する)
- マーシャル諸島のロヤック大統領(議長)
「我々は、海岸に立って助けを求めるだけではいけない」



太平洋の14の国と領土

- クック諸島
- フィジー
- ナウル
- ニウエ
- パプアニューギニア
- サモア
- ソロモン諸島
- トケラウ
- トンガ
- ツバル
- バヌアツ







Climate Change Adaptation

PACCに参加するソロモン諸島: 食料安全保障



これまでにない耕作手法と農作物の品種の耕作に取り組む(ソロモン諸島、オントンジャワ)



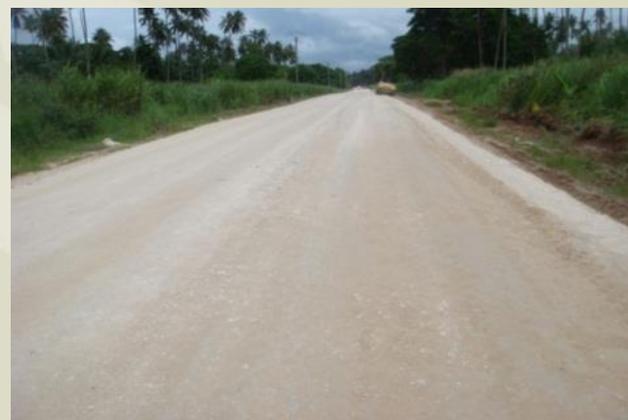
ソロモン諸島

太平洋地域における気候変動への対応(PACC)

www.sprep.org/climate_change/pacc



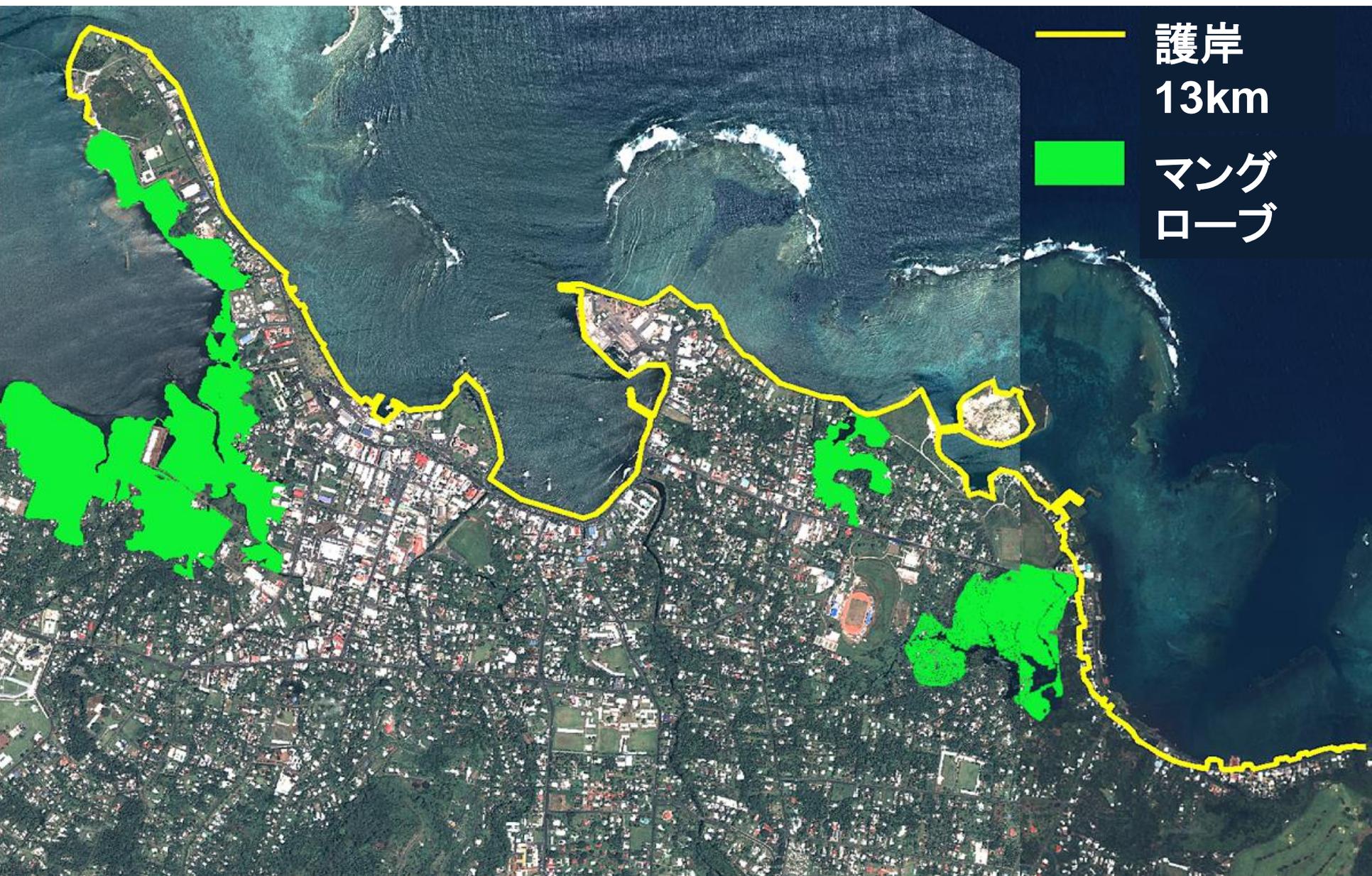
バナアツ(エピ島): 気候変動に耐性のある道路の整備



災害に強い太平洋地域の構築

- 沿岸地域のマングローブの森の保護や生態系の管理の改善のような生態系を活用した対応がより大きな重要性を持つようになってきている





— 護岸
13km

■ マング
ローブ

増大する環境問題と開発問題

鉱物の採掘と
森林伐採

公害と
廃棄物

気候変動





気候変動による 脆弱性の評価

ソロモン諸島
チョイスル州



生態系を活用した対応のためには、生物多様性と生態系に関する知識を高めることが不可欠

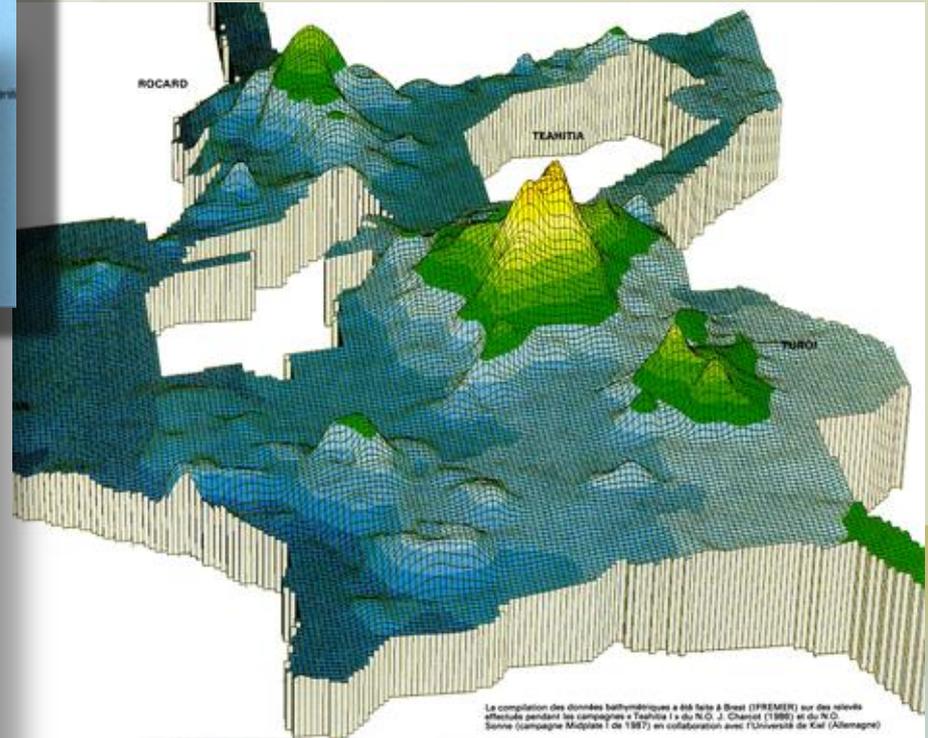
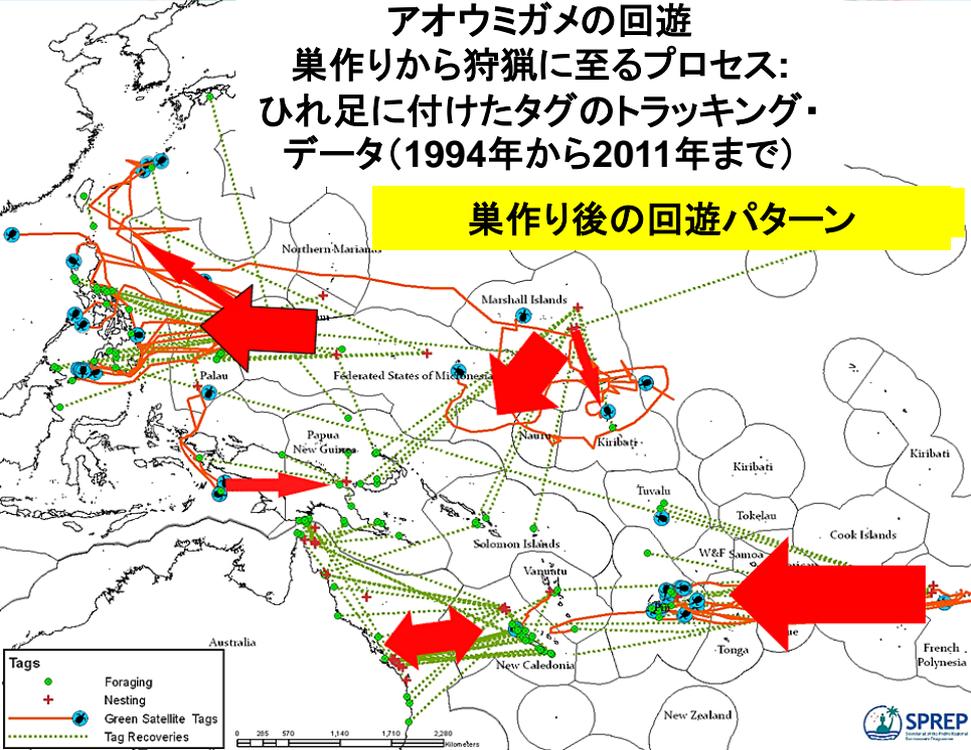
ヌク・イヴァ

マルキーズ諸島



アオウミガメの回遊
 巣作りから狩猟に至るプロセス:
 ひれ足に付けたタグのトラッキング・
 データ(1994年から2011年まで)

巣作り後の回遊パターン



La compilation des données bathymétriques a été faite à Brest (IFREMER) sur des relevés effectués pendant les campagnes « Tachina 1 » du N.O. J. Chassol (1988) et du N.O. Seine (campagne Midpiste 1 de 1987) en collaboration avec l'Université de Kiel (Allemagne).



STATE OF CONSERVATION IN OCEANIA

オセアニアにおける自然保護の現状



第9回自然保護と保護地域に関する
太平洋島嶼会議

FOR MORE INFORMATION, PLEASE VISIT WWW.SPREP.ORG

災害に強い太平洋地域の構築

- 太平洋地域においては、外来侵入種が主な脅威となっている
- 生態系の管理を改善するには、効果的な制御と管理が重要である

外来侵入種

グローバル・レベルのコスト:
年間1.4兆米ドル(2001年度のグローバルのGDPの約5%)



サモアにおけるタロイモの葉の
葉枯れ病の発生:
輸出額が1993年の320万米ドルから
1994年の6万米ドル以下へと激減

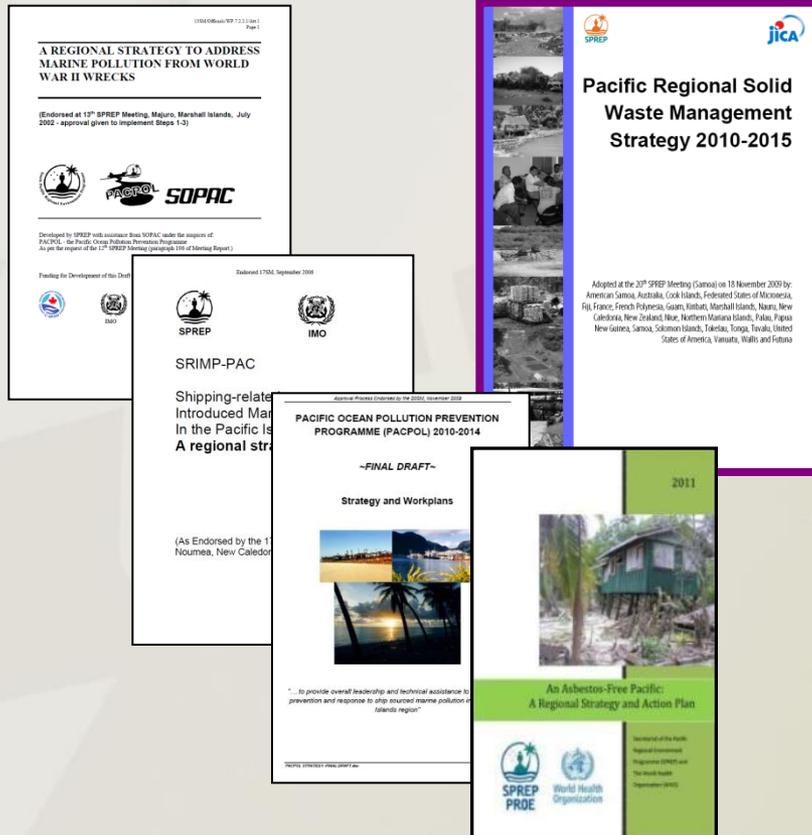


災害に強い太平洋地域の構築

- 太平洋地域においては、廃棄物と有害廃棄物が主な課題となっている
- 生態系を活用した対応には、総合的なアプローチが必要である



太平洋地域における廃棄物管理戦略 2010-2015



ビジョン: 将来にわたって、健康で社会的・経済的・環境的に持続可能な太平洋を実現する

全般的な目標: 太平洋の島嶼国と地域が、コスト効果が高く自律的な廃棄物管理システムを導入する

有害廃棄物の管理

総合的な廃棄物管理には、
有害廃棄物の管理が含まれます

- アスベスト
- E-waste (電子機器の廃棄物)
- 塩素化有機物
- 殺虫剤と除草剤
- 重金属
- 廃油
- 医療廃棄物
- オゾン層破壊物質を含むガス



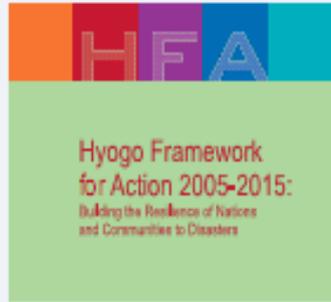


災害リスクの削減と 気候変動への対応の統合

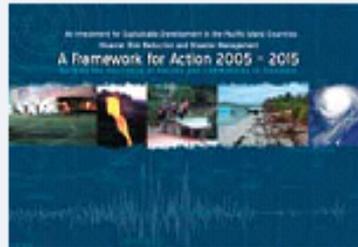
- 太平洋地域は、自然災害と気候変動による大きな課題に直面している
- 災害と気候変動の両方の問題が存在することによって、太平洋地域の生活と持続可能な開発が脅かされている
- 太平洋地域のリーダーは、気候変動と自然災害への対応が国レベルと地域レベルで統合されていなければならないと考えている



さまざまな計画が連携



兵庫行動枠組み2005

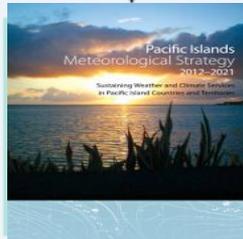


太平洋地域における災害リスク削減および災害管理のための行動枠組み2005-2015

戦略運用計画 (SOP) 2012-2015



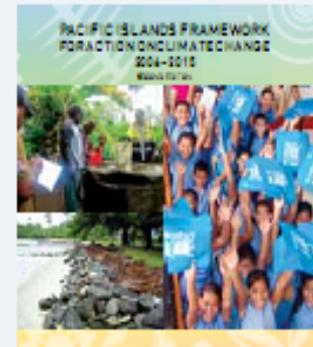
WMO戦略計画 (SO) 2012-2015



RAV戦略計画 (SOP) 2012-2015



気候変動に関する国際連合枠組条約1992



気候変動に関する太平洋島嶼による行動枠組み2005-2015



結果

- 対応策の実施
- 気候変動に関する理解の促進
- 知識、情報、一般市民の認知度、および教育

- 天気と気候に関するサービスの改善
- 災害への準備、対応、復旧
- 早期警告システム

- 天気と気候に関するタイムリーな情報提供と予測
- リスク要因の削減
- 根本原因と脆弱性の把握

災害リスクの削減と 気候変動への対応の統合

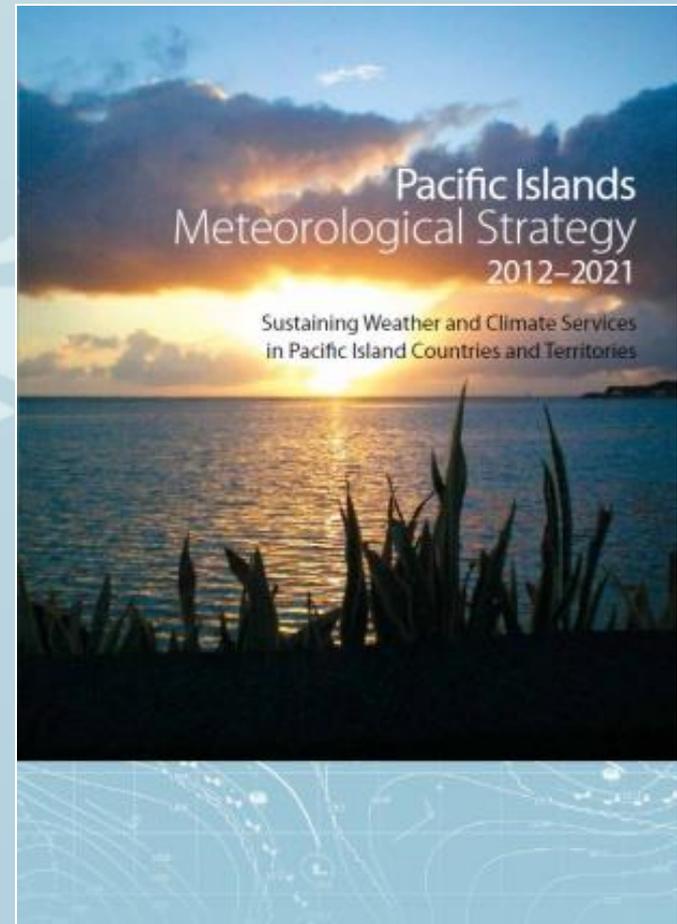
- どうして総合的な対応が必要となるのか？
 - (a) 多くの対応策が似ている。
 - (b) 対応のための能力とリソースが限られているため、対応を統合したほうが合理的かつ現実的である。
 - (c) 総合的な対応によって、シナジー効果を生み出す可能性を見極め、実現することができる。

災害リスクの削減と 気候変動への対応の統合

- 国レベルでは、多くの国が気候変動と災害管理を担当する政府機関を統合し、国レベルの統合アクション・プランの構築を行っている。地域レベルでは、災害リスクの削減と気候変動の両方に対応する統合戦略の構築が行われている。

太平洋島嶼の気象戦略(PIMS)

- 2009年から2010年に大々的に検証された後、気象戦略を構築。
- 検証によって気象サービスの重要性が強調され、太平洋気象評議会 (PMC)、太平洋気象デスク、およびPIMSが構築された。
- PIMSはWMO RAV戦略計画2012-15に基づく14の優先課題で構成され、天気と気候に関するサービスを改善することを目指している。



将来に向けて

将来に向けて

- 太平洋諸国とSPREPは効果的なパートナーシップ(日本政府および日本国民とのパートナーシップを含む)を構築することによって、これらの課題に対応する必要があります。
- 日本から提供されるサポートに非常に感謝しています。J-PRISMプロジェクト(大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト)のような成功事例に基づいてさらに活動を拡充する必要があります。

将来に向けて

- 太平洋地域における気候変動と自然災害への対応策として、生態系を活用した対応が不可欠であるとの認識が高まっています。
- 日本をはじめとする支援国やパートナーからの支援には、生態系を活用した対応の視点が含まれるべきと考えます。

将来に向けて

- 太平洋諸国は日本の経験から大いに学ぶ必要があり、今回の沖縄で開催された会議のような機会は非常に貴重なものです。
- 日本の大学の研究者が太平洋諸国やSPREPや南太平洋大学と協力することによって、この課題にさらに深く取り組むことが必要と考えます。

結論

- 太平洋地域は、気候変動と自然災害という大きな課題に直面しています。
- 日本政府と日本国民は太平洋島嶼国に支援を提供する重要な役割を果たす能力を持ち、実際に支援を提供しています。この支援が今後も継続することを願っています。
- ご支援・ご協力に感謝します。



ご清聴ありがとうございました